

研修日(全9回予定) ※研修の様子を見学できます。また、議論への参加も歓迎します。

【日程】

8/5(金)、13(土)、17(水)、21(日)、26(金)、28(日)、
9/3(土)、4(日)、9(金)

【会場】芸能花伝舎(東京都新宿区西新宿6-12-30)

東京メトロ「西新宿」駅より徒歩約6分
「新宿」駅西口より徒歩約15分

未生文庫(東京都豊島区駒込3-3-4)

JR・東京メトロ「駒込」駅より徒歩5分

アトリエしゅら(新宿区北新宿1-18-1 川島ビル1階)

JR新宿駅西口より徒歩15分
JR大久保駅より徒歩10分

【料金】各回500円(テキスト代は別途実費の場合あり)

※協会員は無料

8/5(金) 13:00-17:30 / 未生文庫

「戯曲に触れる」

戯曲を声に出して読んでみることで、作品の言葉に触れると同時に、研修参加者が戯曲あるいは作家に対しての課題を持ちよりそれについて議論する。

8/13(土) 13:00-17:30 / 花伝舎

「作家を知る」

作家の人生を知ることで、作品と時代との関わり、どのような変化が訪れているかを学び、作家の魅力と特徴を探る。「挿話—エピソード」「思い出を売る男」などに触れる。

8/17(水) 13:00-17:30 / 花伝舎

「戯曲を読み込む」

課題戯曲の精読を行い、戯曲の構造などを分析する。

8/21(日) 13:00-17:30 / アトリエしゅら

『なよたけ』とその先行作品

加藤道夫はフランスの劇作家ジャン・ジロドゥから決定的な影響を受けており、自身でジロドゥ論も執筆している。『なよたけ』には『オンディーヌ』との強い相関関係がうかがえるが、それとともに、折口信夫の古代研究や和歌の創作とも呼応している。それらの影響関係から『なよたけ』を読み解く。

8/26(金) 13:00-17:30 / 花伝舎

『なよたけ』と詩劇

「舞台に詩が躍動し、演劇があらゆる明快さの中にその自らなる声をひびかせる日は何時だろう？」(加藤道夫) 『なよたけ』の中にはどのような「詩」や「言葉のリズム」が刻まれているのだろうか。そもそも日本語における「詩」や「リズム」とはなんだろうか。日本の詩論や歌論を念頭に置きながら、『なよたけ』における「詩」を探る。

以下の4日間はこれまでの研修成果をもとに、リーディング発表に向けて研修を重ねる。

8/28(日) 13:00-17:30 / アトリエしゅら

9/3(土) 13:00-17:30 / アトリエしゅら

9/4(日) 13:00-17:30 / アトリエしゅら

9/9(金) 13:00-17:30 / ストアハウス江古田スタジオ

リーディング発表&シンポジウム

【日程】9/10(土)、11(日)

【会場】ストアハウス江古田スタジオ 5F

(東京都練馬区旭丘1-76-8第5東京ビル5F)

【料金】各回1500円(全席自由席)

※協会員は無料

※チケットをご購入の方は、シンポジウムには両日参加可能です。

9/10(土)

(終了後、懇親会あり)

14:00~ リーディング発表「なよたけ」

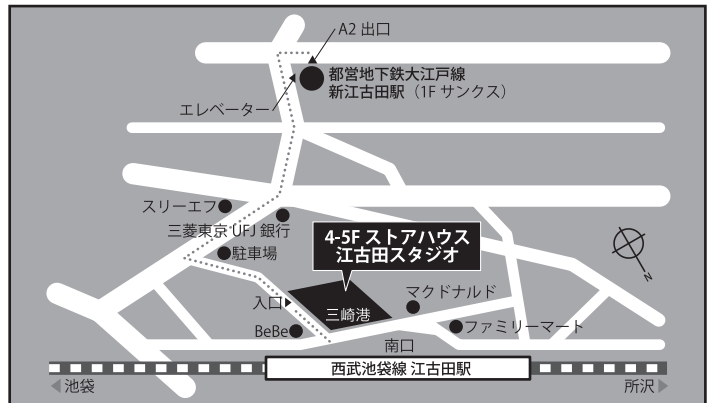
17:00~(予定) シンポジウム

9/11(日)

(終了後、懇親会あり)

14:00~ リーディング発表「なよたけ」

17:00~(予定) シンポジウム



研修参加者
(出演者)

青井陽治、黒川逸朗、鎌内 聡、小林拓生、佐川大輔、篠本賢一、
佐渡寧子、千賀ゆう子、林 英樹、町田マリー、丸尾 聡、望野哲也、
秋吉美桜、石川真衣、伊藤舞、岩崎菜美、小山莉子、坂口寿一、
高倉英敏、鎗水里奈

【実行委員】

青井陽治、川口典成、黒川逸朗、篠本賢一、中村孝夫、林 英樹、丸尾 聡

【主催】文化庁／一般社団法人日本演出者協会

【制作】一般社団法人日本演出者協会

【音響】畑圭 【作曲】佐渡寧子 【宣伝美術】増坂タカヒロ

【総合プロデューサー】川口典成

【企画・製作】一般社団法人日本演出者協会



文化庁委託事業「平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

加藤道夫(1918年—1953年)

1940年に慶應義塾大学英吉利文学部に入学生、芥川比呂志らと在学中に新演劇研究会を結成。1944年、青春の遺書といえる長編戯曲『なよたけ』を脱稿した直後に、陸軍通訳官として南方に赴任、死線をさまよった。1946年、帰国。1947年、新演劇研究会は「麦の会」として再出発。1949年、「挿話」上演後、麦の会は文学座に合流。戯曲・翻訳・評論を多く残した。主な著作に、『襤褸と寶石』、『祖国喪失』、『ジャン・ジロドゥの世界人とその作品』。翻訳に、『君が人生の時』(ウィリアム・サローヤン)、『カリギュラ - 誤解』(アルベール・カミュ)、『アルルの女』(アルフォンス・ドオデ)。1953年、自宅書斎で首吊り自殺。享年35歳。



一般社団法人 日本演出者協会

Japan Directors Association

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎 3F

TEL:03-5909-3074 FAX:03-5909-3075

E-mail:j_d_a_info@yahoo.co.jp http://jda.jp/

【問い合わせ(担当:川口)】 ●携帯:090-1016-7092 ●専用メールアドレス:kindaigikyoku@yahoo.co.jp